

**平成 29 年度
二宮町教育委員会
点検及び評価報告書
(平成 28 年度事業分)**



**平成 29 年 10 月
二宮町教育委員会**

目次

はじめに	1
平成 28 年度二宮町教育委員会基本方針	2
教育委員会について	10
第 1 章 教育委員会の活動状況について	11
1 教育委員会議の運営状況（平成 28 年度）	
2 学校訪問	
3 研修会	
4 その他の活動状況	
5 教育委員会議の公開	
6 教育委員会の活動状況、点検評価	
第 2 章 教育委員会における主要事業	22
1 教育総務課の主要事業	
2 生涯学習課の主要事業	
3 主な事業の執行状況 点検評価	
第 3 章 外部評価（意見）	35
参考資料	39
二宮町教育委員会点検及び評価実施規則	
二宮町教育委員会点検及び評価実施要領	

はじめに

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会において毎年、教育に関する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが義務づけられました。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定、及び「二宮町教育委員会点検及び評価実施規則」に基づき作成されたものです。

1 点検及び評価取り組みの趣旨

- (1) 教育委員会が管理及び執行する事業の取り組み状況について、点検及び評価を実施することにより、より効果的・効率的な教育行政の推進を図ります。
- (2) 毎年、点検及び評価を実施することで、変化する社会経済情勢への対応が的確になされ、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用します。
- (3) 報告書を議会へ提出し、町民へ公表することにより、町民への説明責任を果たし、町民との信頼関係が保たれます。

2 点検及び評価の対象事業

平成 28 年度の事業を対象とし、大きく次の 2 区分とします。

- ① 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況を「教育委員会の活動状況」とします。
- ② 教育委員会が管理及び執行している事務事業並びに教育長に委任している事務のうち重点施策及び主たる取り組みを「教育委員会における主要事務の管理及び執行状況」とします。

3 点検及び評価の方法

- (1) 教育委員会による点検及び評価
対象となる事業の取り組み状況、成果、今後の改善点等をまとめます。
- (2) 外部による点検及び評価についての意見
外部から見た検証・意見等を報告書の内容全般についてまとめます。

4 点検及び評価結果の公表等

点検評価終了後、その結果を取りまとめた報告書を二宮町議会に提出するとともに、報告書を町民へ公表します。

平成 28 年度二宮町教育委員会基本方針

教育は人格の形成をめざし、個性を尊重しつつ、自立した人間を育て、幸福な生涯を実現させる上で不可欠なものです。社会が急速に変化する今日、将来を担う子どもたちには、これまで以上に他と協調しながら自ら考え生涯を切り拓いていく生きる力が求められています。

このような背景の中、新たな教育委員会制度がスタートして1年が経過しました。その過程で、二宮町では『二宮町教育大綱』を策定し、基本理念として、「地域の力を活かした共に学び共に育つ教育」の推進を掲げ、児童・生徒の生きる力を育むとともに、それを取り巻く教育環境の整備、生涯にわたる学習への支援などを当面の二宮町の教育における指針としました。

二宮町教育委員会では、この教育大綱を踏まえ、平成 28 年度を将来に向けた教育環境づくりのスタートの年と位置付け、今後予想される様々な変革に対応できる「地域とともにある学校」をめざし、具体的な検討をはじめます。

また、生涯にわたり学習することのできる環境の整備と学習機会の提供をめざし、町民が主人公となる生涯学習事業を推進していきます。

なお、施策の推進にあたっては、二宮町総合戦略及び第 5 次二宮町総合計画中期基本計画と整合を図り取り組むこととします。

今年度の重点施策

- 1 児童・生徒の「生きる力」の育成
 - (1) 自ら学ぶ力を養うための教育の推進
 - ①言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進
 - ②コミュニケーション能力の育成
 - (2) 地域社会とともに生きる力の育成
 - ①児童・生徒の地域活動への参加促進
 - ②体験活動の充実
- 2 すべての児童・生徒が安心して学べる教育環境の整備
 - (1) 支援が必要な児童・生徒への対応の充実
 - ①いじめ、不登校、ひきこもり等に対する体制の強化
 - ②支援教育の充実
 - (2) 教職員の指導力の向上
 - ①「二宮町学びづくり推進研究事業」の推進
 - ②教育研究所における研修ならびに調査研究の充実
- 3 将来に向けた特色ある学校づくりの推進
 - (1) コミュニティ・スクール導入に向けた検討
 - (2) 小中一貫教育導入についての検討
- 4 社会全体による子育て
 - ①放課後子ども教室の実施

- 5 図書館の充実
 - ①子育て世代が魅力を感じる図書館づくり
 - ②図書館資料の充実
 - ③図書館サービスの充実
- 6 地域に向けた情報発信の強化
 - ①二宮町ホームページや広報紙の積極的な活用

1 学校教育

すべての教育活動を通して、児童・生徒が人権尊重の意識を高め、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、安心して楽しく学ぶことのできる学校づくりを進めます。

このような人権教育の推進を基盤に「教育環境のさらなる充実」、「生きる力の育成」を基本とし、各学校では「子どもたちの育つ力」、「家庭・学校・地域の育む力」、「行政の支える力」をあわせ、自ら学び自己実現をめざす児童・生徒の育成に努めます。

1 児童・生徒の「生きる力」の育成

(1) 自ら学び、これからの時代に生きて働く力を養う教育の推進

① 各教科における言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進

- ・自ら学び、確かな学力をつけるために、これまで培ってきた各教科における言語活動の工夫を柱として学び合いを重視した授業改善が図られるよう努めます。

(重点施策 1-(1)-①)

② 外国語活動、英語科におけるコミュニケーション能力の育成

- ・小学校外国語活動・中学校英語科においては、ALT(外国語指導助手)の活用等を通じて、異文化理解を図り、コミュニケーション能力の育成に努めます。

(重点施策 1(1)-②)

③ 道徳教育ならびに特別活動の充実

- ・道徳の時間においては、生命の尊重、思いやり、規範意識など豊かな人間性を育むための、道徳的心情、判断力、実践意欲と態度等を育てます。
- ・家庭・地域と連携を図り、児童・生徒に手本を示す等、道徳的な実践のできる児童・生徒を育てます。
- ・道徳教育と連携して特別活動を充実させ、より良い集団を自ら作っていく力を育てます。

④ 学校体育の充実

- ・生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育み、健康の保持増進と体力の向上を図ります。

(2) 地域社会とともに生きる力の育成

① 郷土愛の育成

- ・地域の行事への積極的な参加を促し、郷土を愛する気持ちを育てます。
- ・学習活動に地域教材を活用し、地域について学ぶ教育を進めます。

(重点施策 1-(2)-①)

② 地域における児童・生徒の活動の促進

- ・学習協力者、体育・文化活動指導員等の地域教育力による支援を推進します。
 - ・総合的な学習の時間、ボランティア活動、職場体験など、体験学習を生かした教育を推進します。
- (重点施策 1-(2)-①)

③ キャリア教育の充実

- ・キャリア教育の充実を図り、発達段階に応じ、児童・生徒一人ひとりが自己の将来の生き方や進路を主体的に選択できる能力・態度の育成に努めます。また、児童・生徒一人ひとりが勤労観、職業観を身に付け、社会に貢献できる力を育てます。

2 すべての児童・生徒が安心して学べる教育環境の整備

(1) 支援が必要な児童・生徒への対応の充実

① いじめ、不登校、暴力行為等に対応する体制の強化

- ・いじめ、不登校、暴力行為などの問題行動の未然防止・早期発見・早期解決に向けて、各校の児童・生徒指導体制を見直し、児童・生徒理解を着実に進めるとともに、児童・生徒指導担当、教育相談コーディネーター、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育支援室等の相談支援体制の充実を図ります。
 - ・「二宮町いじめ防止基本方針」に基づき、二宮町におけるいじめ対策の総合的かつ効果的な推進を図ります。
 - ・各校のいじめ防止基本方針について随時見直しを図り、その有効な活用を目指します。
- (重点施策 2-(1)-①)

② 支援教育の充実

- ・学校、家庭、関係機関等の連携のもとに支援体制を整え、個々の教育的ニーズを的確に把握し、その持てる能力、個性を伸ばす教育を進めます。
- ・小・中学校へ支援教育補助員を派遣します。外国籍等児童・生徒への日本語指導、ことばの教室(そにつく)等、きめ細かな指導を進めます。

(重点施策 2-(1)-②)

(2) 教職員の指導力の向上

① 「二宮町学びづくり推進研究事業」の推進

- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりに努めます。
- ・児童・生徒の学力向上を目指して、校内研究のさらなる充実を図り、授業改善に努めます。
- ・校種を越えて互いに学び合う教員集団の育成に努めます。

(重点施策 2-(2)-①)

② 二宮町教育研究所の充実

- ・学校教育に関する調査研究や各種教職員研修を実施し、教職員の資質向上、指

導力向上を図ります。

- ・教育研究所に配置している教育支援室専任教諭や心理教育相談員により、支援を必要とする児童・生徒やその保護者、関係教職員に対する教育相談等を行います。
- ・教育研究所内の教育支援室（やまびこ）においては、不登校児童・生徒への学習支援や生活支援をより一層進めます。 (重点施策 2-(2)-②)

3 将来に向けた特色ある学校づくりの促進

(1) コミュニティ・スクール導入に向けた検討

「地域とともにある学校」をめざすための手法のひとつとして、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民が参画できる「コミュニティ・スクール」の導入に向け、検討をはじめます。

(2) 「にのみや子どもはぐくみ塾」の開催

新たに教員と保護者、地域の方々が共に学び合う「にのみや子どもはぐくみ塾」を開催し、授業の充実を図るとともに、二宮町の教育について共通理解を深め、今後のコミュニティ・スクール導入の基盤づくりを進めます。

(3) 小中一貫教育導入についての検討

児童・生徒数の減少や多様化する児童・生徒に関する課題などを背景に、不登校やいじめの解消、学力・学習意欲の向上などが期待できる小中一貫教育の導入について、検討します。

4 その他、学校教育における取り組み

① 安全教育

- ・「二宮町教育委員会学校防災方針」に基づき、各学校において「防災マニュアル」を適切に運用し、児童・生徒の安全確保に努めます。
- ・防災教育の強化を図り、児童・生徒の危険予知能力や危険回避力など、自己管理能力の育成に努めます。
- ・「二宮町児童生徒安全対策協議会」等を通し、地域や関係機関と連携した安全体制をより一層整備します。
- ・「二宮町通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携して、児童・生徒が安全に通学できるように、通学路の安全確保を図ります。

② 情報教育

- ・高度情報化社会に生きる児童・生徒の情報活用能力と情報社会に参画する態度の育成に努めます。
- ・教職員が、情報機器や学校間ネットワークを活用することにより、校務の効率化や学校間の情報交換・情報共有、安全な情報管理を図ります。また、授業の中での ICT（情報通信技術）活用を促進し、分かりやすい授業、授業力の向上

を目指します。

- ・ SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）によるトラブルやネット依存など情報化社会の進展に伴う新たな課題に対応するため、携帯電話・インターネットに関する安心・安全教室の開催や、家庭への啓発活動の促進等により、情報モラル教育の充実に努めます。

③ 読書指導

- ・ 児童・生徒の読書活動が活性化するように、蔵書数を増やしたり、コンピュータによる貸し出しシステムを活用したりするなど、学校図書館の充実に努めます。
- ・ 学校図書館指導員を配置し、教育活動の中に読書の時間を取り入れるなど、読書習慣がつくよう指導します。

④ 「幼・保・小」、「小・中」の連続性を大切にした指導

- ・ 「幼・保・小連携推進委員会」、「幼・保・小交流会」の充実に努め、学びや育ちの連続性を大切に、幼児教育から学校教育への円滑な接続を図ります。

⑤ 学校施設に関する取り組み

- ・ 小・中学校の、安全・安心な施設の整備に努めます。

⑥ 学校給食センターにおける取り組み

- ・ 児童・生徒が、栄養バランスのとれた、手作りの心のこもった給食を通して、食の大切さを学ぶ食育の充実に努めます。
- ・ 子どもたちが地域の産業や農産物を身近に感じ興味関心が高まるよう、地産地消を推進していきます。

5 地域に向けた情報発信の強化

- ・ 二宮町ホームページや広報紙、各校の学校だより等を通して、学校行事や特色ある取り組み、校内研究など日々の実践について情報を発信し、地域と共にある開かれた学校づくりに努めます。 （重点施策 6-①）

2 社会教育

豊かで活力ある社会を築いていくために、「町民一人ひとりが、生涯いつでもどこでも自由に学習することができ、その成果が適切に評価されるような社会」すなわち、生涯学習社会の実現を目指します。

各種講座や研修会等による学習機会の提供や、ホームページや広報等による学習情報の提供を通じ、学習者自身の学びにとどまらず、地域活動やボランティア活動等に、学んだ成果を還元できる人材づくりを目指します。

現在、都市化、核家族化、少子化の進行など、親や子どもを取り巻く社会の変化の中で、地域や家庭の教育力の低下が課題となっています。このため、町民一人ひとりの人間形成の発達段階に応じた社会教育を推進します。

また、インターネット利用に伴う犯罪被害の増加、児童虐待、薬物依存の低年齢化など新たな課題については、学校や地域社会と連携しながら取り組んでいきます。

図書館においては、「二宮町定住促進行動計画（子育て編）」に基づき、子どもの年齢に合わせた行事や子育て支援関連事業を推進していきます。また、図書館基金を活用し

た図書館資料（図書および DVD）の購入、こどものほんコーナーへの図書の相談員の配置など、図書館資料やサービスの充実を図ります。

運動・スポーツでは、心身の健全な発達を促し、地域に明るく潤いに満ちた連帯感を醸成し、活力に満ちた「二宮町」を創り出すため、子どもから大人まですべての町民が「暮らしの中のスポーツ」を実践することができるよう生涯スポーツの普及振興に努めます。また、運動施設の利用促進、各種スポーツ・レクリエーション等への参加促進、スポーツ教室・大会等の開催を通じて、町民相互の親睦と健康増進に努めます。

1 社会教育

① 人権教育の推進

- ・様々な人権問題に対し、人権意識を育むために人権教育研修会等を開催し啓発を行います。

② 社会全体による子育て

- ・「子育てゼミナール」を開催し、家庭での子育てや教育を見つめ直す機会を設けます。
- ・子どもの居場所づくりとして、平日の放課後に学校施設を利用し「放課後子ども教室」事業を実施します。 （重点施策 4—①）
- ・ものづくりや科学実験等の体験活動の場として、「子どもチャレンジ教室」を実施します。

③ 青少年の健全育成

- ・青少年指導員連絡協議会、PTA 連絡協議会、子ども会育成会連絡協議会との協力・連携により、児童・生徒の地域活動を促進します。また、「二宮町ジュニアリーダー養成研修会」を開催し子どもたちのリーダーの養成を行います。
- ・子どもたちの安全・安心のために、PTA 連絡協議会が行う「こども SOS のいえ」を推進します。
- ・「子ども野外研修」を通じ、子どもたちの生きる力を育みます。また、「中学生交流洋上体験研修」、「青少年交流キャンプ」を実施し、広い視野を持った青少年を育成します。
- ・青少年環境浄化推進員との連携により、「青少年の健全育成キャンペーン」、「有害図書の区分陳列の調査」を実施し、青少年の社会環境浄化に努めます。

④ 社会教育関係団体との連携

- ・民俗芸能保存会連絡協議会、文化団体連盟等の社会教育関係団体との連携を密にし、共催事業の実施、研修会の開催など活動の支援を行います。

⑤ 地域文化の向上

- ・「湘南二宮バーチャル郷土館」の内容をより一層充実します。
- ・「ふたみ記念館」では、町出身の画家二見利節の絵画について、保存・展示に努めるとともに、展示ギャラリーの貸し出しを行うことで、施設の有効活用と地域に根ざした美術館を目指します。
- ・町内の祭囃子や伝統芸能の成果発表である「民俗芸能のつどい」の開催や民俗芸能保存会連絡協議会加盟の 16 団体への支援を通じ、郷土に伝わる伝統芸能の保存に

努め、郷土愛を育みます。

(重点施策 1-(2)-①)

- ・町指定文化財や、貴重な資料などの保存に努めます。
- ・ラディアンホールの誇る「スタインウェイ」ピアノに町民が気軽に演奏し、発表する機会作りのために、「ピアノマラソンコンサート」を開催します。

⑥ 学習機会の整備

- ・生涯学習情報誌「身近な余暇ガイド」の情報収集・更新を行い、学習相談に応えるとともに、「町民大学サポーター制度」の周知・活用を図ります。
- ・生涯学習ボランティアが企画運営する「にのみや町民大学講座」を実施し、町民による町民のための町民大学を推進します。
- ・「にのみや町民大学講座」終了後も学習者が継続して学習できるよう、サークル化に向けた支援を行います。

⑦ 学習環境の整備

- ・ラディアンの空調機やエレベーター等施設の修繕を行います。

2 図書館

① 図書館資料の充実

- ・図書館基金を充当し、図書および視聴覚資料（DVD）の充実を図ります。

(重点施策 5-②)

② 図書館情報の発信

- ・町の文化の発信拠点として、「広報にのみや」、「ホームページ」を活用したり、「図書館だより」を定期的に発行することにより、図書館活動のPRや利用促進を図ります。

③ 小・中学校との連携・読書推進

- ・町立小・中学校図書館担当者と情報交換を行います。また、図書館利用を促進するため、小・中学校へ図書館利用、見学の実施を呼びかけます。
- ・夏休み前に「小・中学生にすすめたい本」リストを作成・配布します。
- ・ティーンズコーナーの充実を図り、中高生の居場所としてのコーナーづくりを検討します。

④ 子育て支援の推進

- ・「ブックスタート事業」（子ども育成課共催）を継続実施します。「あかちゃんがはじめてであう絵本」を配布し図書館利用の促進を図るとともに、子育てに関する図書を集めた「子育て関連図書コーナー」や子育て情報を集積した「子育て情報コーナー」の充実を図ります。

(重点施策 5-①)

- ・子どもの年齢に合わせた行事や子育て支援関連事業を開催します。

⑤ こどものほんコーナーへの図書の相談員の配置

- ・学校の夏季休暇期間など、調べ学習での利用が多くなる時期に「こどものほんコーナー」に図書の相談員を配置し、児童・生徒の調べ学習の支援、読書相談を行います。

(重点施策 5-③)

⑥ 蔵書検索システムの活用

- ・「インターネットの蔵書検索システム」、「県内図書館の相互貸借システム」を活用

し、予約・リクエスト等資料の迅速な提供に努めます。

⑦地域資料・行政資料の収集・保存

・二宮に関する資料や行政資料を収集・保存し、町に関する情報を町民がいつでも閲覧できるように整備します。

⑧ 図書館資料の活用と蔵書の管理

・所蔵資料がさらに活用されるよう、書庫の本の紹介や時事に沿った展示コーナーで積極的に資料の紹介を行います。また、蔵書管理の徹底を図ります。

⑨ 町民参加の図書館運営

・町民のボランティア参加により、図書館運営及びサービスの向上を目指します。
(録音図書ボランティア、修理ボランティア、書架整理ボランティア)

3 生涯スポーツ

① 町民参加による大会の実施

・「町内一周継走大会」を実施し、体育協会主管のもと地域住民と青少年の交流親睦の充実を図り、住民参加を進めます。
・中学生を対象とした「少年少女ソフトバレーボール大会」を実施し、各地区の住民参加を得て、ふれあいによるスポーツ精神の高揚を図ります。
・多くの町民が参加できる「二宮町体育祭」を開催し、町民へのスポーツ・レクリエーションの普及を図ると共に、地域の人たちのスポーツを通じたふれあいによる地域同士の連帯感を育てます。

② 暮らしの中の運動・スポーツの推進

・「にのみやウォーキング・ジョギングガイド」を活用し、運動・スポーツの習慣をつける環境づくりを推進します。
・「3033運動」(1日30分、週3回、3ヶ月間)の推進に努めます。
・「県民スポーツ週間」には施設の無料開放をするなど、暮らしに運動やスポーツを取り入れる機会を確保します。

③ 関係施設・設備

・山西プール浄化槽放流ポンプ及び循環浄化装置集毛器交換工事を行います。

4 地域に向けた情報発信の強化

・町民が等しく生涯学習の機会を得られるよう、二宮町ホームページや広報紙等を通じて、また、社会教育関係団体、社会教育施設利用者等、人と人のネットワークを通じて、学習・文化、スポーツ等の情報を積極的に発信していきます。

(重点施策 6-①)

教育委員会について

二宮町教育委員会は、教育長及び 4 名の教育委員で構成され、教育委員会議において教育に関する規則の制定や重要な事項を審議決定しています。

二宮町教育委員会（平成 29 年 3 月 31 日現在）

職 名	委員名	任 期
教育長	ふかわ よういち 府川 陽一	平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
教育長 職務代理者	やまのうち 山内 みどり	平成 25 年 12 月 23 日 ～ 平成 29 年 12 月 22 日
委 員	よしだ みかこ 吉田 美佳子	平成 26 年 10 月 1 日 ～ 平成 30 年 9 月 30 日
委 員	はら みちこ 原 道子	平成 27 年 10 月 1 日 ～ 平成 31 年 9 月 30 日
委 員	おかの としひこ 岡野 敏彦	平成 28 年 10 月 1 日 ～ 平成 32 年 9 月 30 日

第1章 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会議の運営状況（平成28年度）

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備 考
平成28年 4月22日	<p><報告・協議事項></p> <p>(1) 女性活躍推進法について</p> <p>(2) 二宮町いじめ問題対策連絡協議会設置要綱について</p> <p>(3) 県市町村教育委員連合会役員会報告について</p> <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>コミュニティ・スクールの認識が広まっていないと思います。コミュニティ・スクールとは何かということ自体がまだ地域の方には伝わっていないと思います。今現在の状況でもいいと思いますので、よりアピールをしていただきたいと思います。</p>		<p><傍聴3名></p> <p>(回答事項)</p> <p>コミュニティ・スクールについては、2年間かけて学校の先生方が取り組めるような環境づくりを行い、地域参加型の学校づくりを行えるようにしたいと考えています。町民の方に対して、コミュニティ・スクールとは何かということ、教育委員会で説明をしたいと考えています。学校評議員の方の理解も必要なので、何回か足を運んで理解いただけるように努めたいと思います。</p>
平成28年 5月20日	<p><付議事項></p> <p>・平成29年度二宮町立小学校及び中学校で使用する教科用図書採択方針について</p> <p><報告・協議事項></p> <p>・平成28年度小・中学校学級編制及び児童生徒数について</p> <p>・第1回及び第2回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について</p> <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>初任者研修はどのようなことをしたのでしょうか。</p>	原案可決	<p><傍聴1名></p> <p>(回答事項)</p> <p>前半30分は、教職とは何かというような話を教育長からしました。後半1時間で教科書についてや、アイスブレイクや仲間づくり、子どもたちをよく見て授業を進めるようにしようという話をしました。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 28 年 6 月 24 日	<p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度二宮育英会奨学生の選考結果等について【非公開】 ・二宮町就学援助費交付要綱改正について ・コミュニティ・スクールを導入するにあたっての基本的な考え方 ・一色小学校コミュニティ・スクール準備委員会設置要綱について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>野外研修についてですが、二宮小学校は参加人数が減っていますが、一色小学校・山西小学校は増えています。2泊3日から1泊2日にしたので、増えているのではないかと思います。</p>		<p><傍聴 1 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>従来の 2 泊 3 日だと、子ども会の役員の負担が大きかったので、1 泊 2 日にしてよかったという意見も聞かれました。保護者の負担軽減の為に、1 泊 2 日で続けていきたいと思います。一色小学校や山西小学校も来年度以降学校でもキャンプを行う予定となっていますので、その結果を受けて、野外キャンプについても考えていく必要があると思います。</p>
平成 28 年 7 月 29 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度小学校使用教科用図書採択について ・平成 29 年度中学校使用教科用図書採択について ・平成 29 年度小・中学校使用学校教育法附則第 9 条による教科用図書採択について <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度学校給食費会計報告について ・「夏休みは図書館へ行こう！」について ・第 26 回ガラスのうさぎ像平和と友情のつどいについて <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>水泳教室は、今年は温水プールを使ったとのことでしたが、どうだったのでしょうか。</p>	<p>原案可決 原案可決 原案可決</p>	<p><傍聴 3 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>6 月から 7 月 8 日まで水泳教室を行いました。二宮西中学校はそのまま山西プールを使い、山西小学校は一部山西プールを使いながら、温水プールを使用しました。その他の学校は温水プールを使い各学校、3 回ずつ行うことが出来ました。マイクロバスを借り上げて、温水プールまで行きました。最初は、バスに乗り込むのに手間取ってしまいましたが、概ね順調に行うことが出来ました。今年の 6 月は雨の日もありましたので、効果はあったと思います。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 28 年 8 月 26 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度二宮町一般会計補正予算（案）について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二宮町教育委員会点検及び評価報告書(案)について ・図書館協議会勉強会報告について ・第4回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について ・教育支援室教育相談活動について【非公開】 ・二宮町体育祭について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>少年少女ソフトバレーボール大会についてですが、今年が最後ということで、今後の競技については、スポーツ推進委員が検討しているとのことですが、生涯学習課はどのように関わっていくのでしょうか。</p>	原案可決	<p><傍聴3名></p> <p>(回答事項)</p> <p>スポーツ推進委員連絡協議会については、生涯学習課の職員も参加しています。今後のイベントについてですが、バウンスポールというニュースポーツを進めていこうという話があります。スポーツ推進委員の自主事業ではありますが、情報発信についてなど、職員もいろいろな形でサポートをしていこうと考えています。</p>
平成 28 年 9 月 30 日	<p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書(案)について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>二宮西中学校で行われた防災訓練にはたくさんの方が集まったそうですが、どのような人たちが集まったのか教えていただけますか。</p>		<p><傍聴1名></p> <p>(回答事項)</p> <p>二宮西中学校では、年に1回地区懇談会をこの時期に毎年行っていて、5時間目の授業を参観していただき、その後懇談会を行っていました。今回はその懇談会の中で防災訓練を行いました。防災訓練に参加していただいたのは、二宮西中学校区の自治会の役員さんと保護者の皆さんです。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 28 年 10 月 28 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度二宮町公立学校教職員人事異動方針（案）について ・平成 28 年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について【非公開】 ・二宮町社会教育委員の委嘱について【非公開】 ・二宮町生涯学習センター運営審議会委員の委嘱について【非公開】 ・全国学力・学習状況調査の結果について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種委員会委員について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>コミュニティ・スクールについて、町民の皆さんは言葉だけが唐突に出てきたような印象を持っていると思います。「学校へ行こう週間」は、保護者や地域に学校をオープンにする仕組み、「コミュニティ・スクール」はそれをもう一歩進めて、保護者や地域の方に学校の経営に参画してもらおう仕組みだということ、分かりやすく周知する必要があると思います。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p><傍聴 5 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>地域再生という大きな国のプロジェクトがあり、二宮町でも高齢化が進んでいる一色小学校区の地域を活性化しようという地域主催の事業があります。そこで教育委員会も地域と連携して、地域の方々にも学校の運営に参加して欲しいという思いから、コミュニティ・スクール導入を検討しました。コミュニティ・スクール準備委員会は 1 回目の会議を行いました。これから 2 年間かけて活動を行っていく予定です。2 回目の準備委員会では、町民に向けての広報活動についても考えていきたいと思ひます。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 28 年 11 月 25 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書(案)について ・平成28年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について【非公開】 ・平成28年度二宮町一般会計補正予算(案)について【非公開】 ・教育委員会事務局職員人事について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度二宮町教育委員会当初予算要求について【非公開】 ・二宮町立小中学校に小中一貫教育校の導入を検討するにあたっての基本的な考え方(素案) ・第 5 回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について ・二宮町・町内一周継走大会について ・平成 28 年度神奈川県市長村教育委員会連合会研修会の結果報告について ・「ともに生きる社会かながわ憲章」について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>第 2 回一色小学校コミュニティ・スクール準備委員会についてですが、まだ町民への周知が不十分のように感じたので、PTAなどに対しても、もっとPRしていかなければいけないと感じました。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p><傍聴 1 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>コミュニティ・スクールは地域で人と人との関係が希薄になっている中、学校が地域の中心となって、もう一度今の時代にあった地域のつながりを作っていこうというものです。発信の仕方も難しく、地域にすぐに浸透して、実現出来るものではないと思います。PTAと何が違うのかということ、地域が関わっていることで、保護者同士がつながり、子どもが大きくなるにつれて希薄になっていかないように、学校という場所が、地域再生の中心になるよう考えています。</p>
平成 28 年 12 月 22 日	<p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11 月 29 日の給食献立のドライカレー提供中止について ・新春のつどい、自治功労、教育委員会表彰式について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>二宮町立学校教職員安全衛生委員会では、産業医と校長先生と話し合いをしたということですが、二宮町ではどんな指摘があったのでしょうか。</p>		<p><傍聴 4 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>夏に実施した教職員健康診断の結果もしくは、人間ドックの結果を受けて、産業医の住田先生に見ていただきました。139 人のうち、36 人が何もなしで、103 人に何かしらの所見がありました。しかし、他の業種と比べて特に多いということはないということです。BMI や肝機能の異常が多かったようです。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 29 年 1 月 27 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二宮町立小中学校に小中一貫教育校の導入を検討するにあたっての基本的な考え方（案）について <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度二宮町教育委員会基本方針（素案）について ・コミュニティ・スクール導入促進事業の状況報告について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>いじめの現状については、現在どれぐらいの件数があるのでしょうか。</p>	原案可決	<p><傍聴 3 名></p> <p>（回答事項）</p> <p>いじめの認知件数は増えているのが現状です。以前に比べて少しでも嫌な思いをしたものはいじめの可能性があると詳細が報告されるようになったので、認知件数だけ見ると増えています。内容を見ると、注意する言葉がきつくて嫌な思いをしたなどというものも含まれています。一方で生徒会や児童会を通じて子どもたち自身で、いじめをなくそうという取り組みを行っている学校があるのは、とてもよい傾向だと思います。</p>
平成 29 年 2 月 17 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度二宮町一般会計補正予算（案）について【非公開】 ・平成 28 年度二宮町予算（案）について【非公開】 ・平成 28 年度二宮町教育委員会基本方針（案）について ・二宮町ふたみ記念館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則（案）について <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止対策を推進するための申し合わせ事項について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>小中校長会がありました、コミュニティ・スクールに対する校長先生たちの反応はどうだったのでしょうか。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p><傍聴 1 名></p> <p>（回答事項）</p> <p>各校長はおおむね前向きだという印象を受けました。2 年間準備期間があるので、その間に学校の要望を聞き、効果的にコミュニティ・スクール導入の準備を進めていきたいと思っています。</p>

開催日	審議された議案・主な意見・提案	議決要旨	備考
平成 29 年 3 月 24 日	<p><付議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二宮町教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則（案）について ・二宮町教育委員会関係職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則（案）について ・二宮町スポーツ推進委員の委嘱について【非公開】 ・教職員等人事について【非公開】 ・教育委員会事務局職員等人事について【非公開】 <p><報告・協議事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長職務代理者の指名について ・各種委員会委員等の選任について ・平成29年度教科用図書採択について ・二宮町教育支援委員会設置要綱の制定について ・二宮町生涯学習センター防犯カメラ運用要綱の改正について ・二宮町民温水プール防犯カメラ運用要綱の改正について ・二宮町英語検定奨励金交付要綱の一部を改正する要綱について ・二宮町スクール・ガードリーダー設置要綱の廃止について ・教育相談・教育支援室活動の状況について【非公開】 ・辞令交付式について【非公開】 ・二宮小学校成績処理誤記載について ・全国学力・学習状況調査結果について ・第 6 回「にのみや 子ども はぐくみ塾」開催状況報告について <p><事務報告に対する主な意見・提案事項></p> <p>体罰調査について、「行き過ぎた指導」という表現がありましたが、具体的にはどのような指導だったのでしょか。</p>	<p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p> <p>原案可決</p>	<p><傍聴 1 名></p> <p>(回答事項)</p> <p>「教員のほうを向かせるのに、手を使って顔の方向を変えた」「言葉遣いがきつい」などということが指摘されました。それぞれ行き過ぎた指導について学校と教員は本人と保護者に、謝罪しています。児童への影響が心配されましたが、話し合いの機会を持ち、教員が謝罪したことによって安心したという報告がありました。</p>

2 学校訪問

<訪問内容>

- ① 授業参観
- ② 「教育方針」「学校教育推進に伴う課題（施設の維持・危機管理・サービスなど）」について説明
- ③ 具体的な教育活動（児童生徒指導の実情と問題点）や学校研究の特色などについての説明
- ④ 質疑応答

<学校訪問の状況>

訪問日	場 所
平成 28 年 6 月 24 日	二宮町立一色小学校
平成 28 年 10 月 21 日	二宮町立二宮中学校
平成 28 年 10 月 28 日	二宮町立二宮西中学校
平成 29 年 1 月 27 日	二宮町立二宮小学校
平成 29 年 3 月 1 日	二宮町立山西小学校

3 研修会

平成 28 年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会（5 月 29 日開催・東京都八王子市）、神奈川県市町村教育委員会連合会研修会（11 月 17 日開催・大和市）に出席して、研鑽を積んだ。

4 その他の活動状況

①町の各種委員会委員への選任及び開催状況

委員会の名称	委員名	委員会開催日
都市計画審議会	原 道子	平成 28 年 8 月 23 日
男女共同参画プラン推進連絡会	山内 みどり	—
学校給食センター運営委員会	吉田 美佳子	平成 28 年 6 月 28 日、 平成 29 年 2 月 22 日
二宮育英会	山内 みどり	平成 28 年 6 月 21 日
子ども野外研修実行委員会	吉田 美佳子	平成 28 年 4 月 13 日、6 月 17 日、 7 月 19 日、10 月 19 日

②小・中学校や教育委員会関係行事への参加状況

開催日	行事名
平成 28 年 4 月 1 日	教職員辞令交付式
4 月 5 日	小・中学校入学式
5 月 19 日	第 1 回総合教育会議
5 月 14 日	体育祭（二宮西中学校）
5 月 21 日	体育祭（二宮中学校）
5 月 27 日	関東甲信越静市町村教育委員連合会総会
5 月 28 日	運動会（二宮小学校）
5 月 28 日	運動会（一色小学校）
7 月 23 日	子ども野外研修（丹沢湖ロッヂ）
7 月 30 日	ソフトバレーボール大会
8 月 26 日	第 2 回総合教育会議
9 月 28 日	三鷹市コミュニティ・スクール視察
10 月 2 日	二宮町体育祭
10 月 8 日	運動会（山西小学校）
10 月 15 日	文化祭（二宮中学校、二宮西中学校）
10 月 23 日	二宮町民俗芸能のつどい
12 月 11 日	二宮町町内一周継走大会
平成 29 年 1 月 5 日	教育委員会表彰・教育長表彰式（二宮町新春のつどい）
1 月 9 日	成人祝賀会
2 月 17 日	第 3 回総合教育会議
3 月 10 日	中学校卒業式
3 月 17 日	小学校卒業式
3 月 31 日	教職員等転退職者辞令交付式

5 教育委員会議の公開

二宮町教育委員会議規則第 16 条に基づき、会議は教育長の許可を得て傍聴することができるとしている。

平成 28 年度は、27 名の傍聴人があった。

6 教育委員会の活動状況 点検評価

※「別紙 1 教育委員会の活動状況 点検評価シート」に記載（P 20～P 21）

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
教育委員会議の実施状況	1 開催回数 13回 (定例会 12回) (臨時会 1回) 2 議案件数 36件 3 請願件数 1件 4 選挙 0件 5 傍聴 36名	1 開催回数 12回 (定例会 12回) (臨時会 0回) 2 議案件数 24件 3 請願件数 0件 4 選挙 0件 5 傍聴 27名
成果・課題	評価・所見	
<p>平成 28 年度二宮町教育委員会基本方針を念頭に置き、議案 24 件を審議した。また、各定例会においては教育長報告として各所管課から実績報告や事業予定の説明を受け、内容の確認を行った。</p> <p>なお、会議傍聴について町部局と足並みを揃え規則の改正を行い、適正な会議運営に努めた。</p> <p>今後も、二宮町の学校教育・生涯学習・社会教育の良い点をさらに伸ばし、子どもたちの生きる力を育成し、質の高い教育を受ける場や機会を提供出来る環境を整えていくための活動を引き続き推進していく。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：B)</p> <p>教育委員会議では活発な意見交換を行っており概ね適正に取り組んでいることからAとした。</p> <p>教育委員会議は、二宮町教育委員会議規則第 16 条に基づき、教育長の許可を得て傍聴することが出来るとされていることから、引き続き活発な意見交換、開かれた会議運営を進める。</p>	

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
学校訪問等の活動	1 学校訪問 町立小中学校 5 校訪問 2 各種研修会 1 回参加 3 その他の活動 学校教育・生涯学習関連 各種行事に参加	1 学校訪問 町立小中学校 5 校訪問 2 各種研修会 関東甲信越静岡市町村教育委員連合会総会 神奈川県市長村教育委員会連合会研修会 3 その他の活動 学校教育・生涯学習関連 各種行事に参加
成果・課題	評価・所見	
<p>学校訪問では、各学校の教育方針や学校経営の実情をもとに、学校教育推進上の諸課題について話し合い、これからの学校教育の推進を図るため、各学級の授業参観及び学校施設の状況を視察した。</p> <p>また、各教育委員会連合会研修会に参加するとともに、諸行事に参加し、教育行政全般に目を向けた幅広い視野を持てるよう努めている。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：B)</p> <p>学校訪問や諸行事の参加により、教育現場の状況を確認するとともに、各種研修会に参加することで委員として研鑽に努めたことから評価をBとした。</p> <p>今後は、学校訪問について充実を図るとともに、各種行事および研修会に参加を続けることで、教育行政全般に関する諸課題についてさらなる改善を目指していく。</p>	

第2章 教育委員会における主要事業

1 教育総務課の主な事業

●学校教育の重点施策

重点施策			頁
1 児童・生徒の「生きる力」の育成	(1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進	①言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進 ②コミュニケーション能力の育成	24
	(2)地域社会とともに生きる力の育成	①児童・生徒の地域活動への参加促進 ②体験活動の充実	25
2 すべての児童・生徒が安心して学べる教育環境の整備	(1)支援が必要な児童・生徒への対応の充実	①いじめ、不登校、ひきこもり等に対する体制の強化 ②支援教育の充実	26
	(2)教職員の指導力の向上	①「二宮町学びづくり推進研究事業」の推進 ②教育研究所における研修ならびに調査研究の充実	27
3 将来に向けた特色ある学校づくりの推進	(1)コミュニティ・スクール導入に向けた検討		28
	(2)小中一貫教育導入についての検討		

●学校教育のその他の事業

・<学校給食センターにおける取り組み>・児童生徒の食育の推進

・安全安心でおいしい給食の提供

29

2 生涯学習課の主な事業

●社会教育の重点施策

重点施策			頁
1 児童・生徒の「生きる力」の育成	(2)地域社会とともに生きる力の育成	①児童・生徒の地域活動への参加促進	30
4 社会全体による子育て		①放課後子ども教室の実施	31
5 図書館の充実		①子育て世代が魅力を感じる図書館づくり	32
		①図書館資料の充実	33
		②図書館サービスの充実	34

●社会教育のその他の事業

・<生涯スポーツ> 温水プールでの各種水泳教室 ⇒ 28年度より町健康づくり課へ

・<生涯スポーツ> 関係施設・整備

35

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート (教育総務課)

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<p>重点施策</p> <p>1 児童・生徒の「生きる力」の育成 (1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進</p> <p>①言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進</p> <p>②コミュニケーション能力の育成</p> <p>(教育総務課 指導班)</p>	<p>① 二宮町学びづくり研究推進事業において、各校で言語活動の充実を図った。</p> <p>② 各校にALTを配置し、英語を通じたコミュニケーション能力の育成を図った。</p> <p>ALT年間配置日数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3校248日 ・中学校2校118日 <p>英語検定奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英検受験者数104名 ・英検受験率42.6% ・奨励金支給額285,200円 		<p>① さまざまな教科においてグループ活動を取り入れるなど、各校で言語活動を意識した授業展開に努めた。</p> <p>② 引き続き各校にALTを配置し、英語を通じたコミュニケーション能力の育成を図った。</p> <p>ALTの年間配置日数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3校237日 ・中学校2校126日 <p>英語検定奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英検受験者数75名 ・英検受験率32.1% ・奨励金支給額 207,200円 	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	9,771,000	9,531,923	9,662,000	9,471,851
成果・課題		評価・所見		
<p>① グループや学級全体の中で自分の意見を発表して意見交換を行い、課題の解決を図る学び合いの授業スタイルがより一層定着してきた。</p> <p>② ALTは授業以外の学校行事等にも積極的に参加しており、児童生徒の国際理解とコミュニケーション能力の育成に寄与している。新学習指導要領の施行を見据え、今後ALTの活用を含め、英語教育のあり方を検討する必要がある。</p> <p>英検受験率は前年度よりも減となった。</p>		<p>B</p> <p>(前年度評価：B)</p> <p>① 全国学力・学習状況調査において「授業で児童・生徒の間でよく話し合う」と答えた児童生徒の割合が高く(小学校51.8%、中学校42.8%、全国平均はそれぞれ45.2%、34.9%)、学び合いの授業スタイルが児童生徒の学力を向上させている。</p> <p>② 英語検定奨励金に関しては受験率が低下したことから評価はBとした。受験勧奨の方法に再考が必要である。</p>		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 1 児童・生徒の「生きる力」の育成 (2) 地域社会とともに生きる力の育成 ① 児童・生徒の地域活動への参加促進 ② 体験活動の充実 (教育総務課 指導班)	① 中学生に町防災訓練などの地域活動への参加を呼びかけた。また、地域教育力推進事業として、体育・文化活動指導員のべ10名6団体、学習協力者のべ16名9団体にご協力いただいた。 ② 児童生徒の発達段階に応じて福祉体験、職場体験等を実施した。		① 二宮西中学校では、地区と協力して避難所開設訓練を実施し、地域活動を体験した。 体育・文化活動指導員 11名 6団体 学習協力者 23名 12団体 ② 地域の協力を得て、各校において福祉体験、職場体験等を実施した。また、二宮小学校では、5年生が宿泊による野外体験活動を行った。	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	1,922,000	1,794,141	1,902,000	1,840,660
成果・課題		評価・所見		
① 中学生には地区の防災訓練への参加を呼びかけてきたが、これまで各地区では、どのように中学生の力を活用すればいいのか戸惑いがあった。二宮西中学校での避難所開設訓練は、その解決の糸口となる活動となった。 ② 二宮小学校での実施を受けて、他の2校でも、平成29年度より野外体験活動を行う予定である。 地域教育力活用事業では、地域の協力により、各種体験活動を円滑に行うことができた。		A (前年度評価：B) ① 各校において、地域とのつながりを大切にした教育活動が展開されており、学習協力者や登下校時の見守りなどの協力を結び付いた。良好な協力関係を築けていることから、評価はAとした。 今後はコミュニティ・スクール導入を想定して、今までの取組を一步進め、各校と地域との新たな協力関係を構築していく。 ② 各小学校の野外体験研修や地域教育力活用事業が円滑に実施できるよう、教育委員会において引き続き予算確保に努める。		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<p>重点施策</p> <p>2 すべての児童・生徒が安心して学べる教育環境の整備</p> <p>(1) 支援が必要な児童・生徒への対応の充実</p> <p>①いじめ、不登校、ひきこもり等に対する体制の強化</p> <p>②支援教育の充実</p> <p>(教育総務課 指導班)</p>	<p>①町費によるスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置し、相談支援体制を強化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 町費SSW配置時間のべ86日 384時間 <p>また、「二宮町いじめ防止基本方針」を策定し、「二宮町いじめ問題対策連絡協議会設置要綱」を整備した。</p> <p>②特別支援学級の学級数増に対応し、支援教育補助員を増員した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援教育補助員人数 3校のべ20名 日本語指導員人数 4校のべ7名 		<p>①町費SSWを2名に増員し、主に中学校において解決が難しくなっている不登校等のケースに関わってもらった。心理教育相談員、SSWからの専門的な助言を得て、学校における児童生徒の支援体制を強化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 町費SSW配置時間のべ98日 576時間 <p>②中学校にも支援教育補助員を配置し、特別支援学級において学校生活の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援教育補助員人数 5校のべ23名 日本語指導員人数 4校のべ9名 	
	現計予算額（円）	決算額（円）	現計予算額（円）	決算額（円）
	21,578,000	21,110,211	24,086,000	23,084,753
成果・課題		評価・所見		
<p>① SSWを増員し、より多角的な視点で児童生徒とその家庭のかかえる課題を検討できるようになった。SSWが各校の支援体制にどのように関わっていくのか、今後も検討を続けていく必要がある。</p> <p>② 中学校の特別支援学級にも支援教育補助員を配置したことで、教科担任制の中学校において、授業時間によって担任が変わっても、より一層1日の学習活動に連続性を持たせることができるようになった。</p>		<p>B</p> <p>(前年度評価：B)</p> <p>① 中学校にも支援教育補助員を配置するなど、限られた予算の中で支援教育補助員を効果的に配置し、支援体制の充実を図ることができた。</p> <p>② 一方、教育相談事業において学校、心理教育相談員、SSW、教育支援室、児童相談所など、さまざまな関係機関を町教育委員会が橋渡しをして連携させていく手法については課題が残ったため、評価はBとした。</p>		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
<p>重点施策</p> <p>2 すべての児童・生徒が安心して学べる教育環境の整備 (2)教職員の指導力の向上</p> <p>①「二宮町学びづくり推進研究事業」の推進 ② 二宮町教育研究所の充実</p> <p>(教育総務課 指導班)</p>	<p>①二宮町学びづくり推進研究事業補助金を支給した。各校において外部講師を招聘し、年間を通して研究サイクル全般にわたり指導を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給額 5校 389,883円 ・教職員研修会1回開催 ・学びづくり通信発行年5回 <p>② 教育研究所に教職経験のある非常勤の指導員を配置し、若手教員の指導、学力学習状況調査の分析等研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究所指導員配置日数 14日×12か月＝168日 		<p>①前年度に引き続き、各校で「二宮町学びづくり推進研究事業」による校内研究に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給額 5校 400,000円 ・教職員研修会1回開催 ・学びづくり通信発行年3回 <p>② 前年度に引き続き教育研究所に非常勤の指導員を配置し、新採用や臨時的任用等の若手教員の指導、学力学習状況調査の分析等研究を行った。また、児童生徒数の推計等、将来の学校のあり方を考えるための基礎資料の作成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究所指導員配置日数 14日×12か月＝168日 	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	2,160,000	2,109,023	2,242,000	2,159,050
成果・課題		評価・所見		
<p>① 二宮町学びづくり推進研究事業は2年目を迎え、各校の研究サイクルが確立された。また、校種をこえて他校の授業を参観するなど、小中一貫教育の研究・検討にもつながる有意義な活動に結び付けることができた。</p> <p>② 教育研究所では、教職経験豊富な指導員が、若手教員等に授業づくりの“技、こつ”について示唆に富んだ指導を行っている。また、学力学習状況調査の分析を各校に返し、指導の充実につなげた。さらに、各種データを収集し、将来の学校のあり方を考えるための基礎資料の作成を進めてきた。</p>		<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：A)</p> <p>① 年間を通じて同一の講師に指導を仰ぐことができることから、各校の研究内容が充実した。また、小中学校教員の相互理解が進んだ。</p> <p>② 教育研究所の人材育成事業により、若手教員の力量が向上し、各校とも充実した教育活動が行われている。また、様々なデータを収集し、二宮町の今後の教育のあり方について有意義な研究を行っている。</p> <p style="text-align: center;">以上の理由から、評価はAとした。</p>		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 3 将来に向けた特色ある学校づくりの推進 (1) コミュニティ・スクール導入に向けた検討 (2) 小中一貫教育導入についての検討 (教育総務課 指導班)	平成 28 年度新規事業のため、前年度実績等なし。		(1) 県から 2/3 の事業費補助を受け、一色小学校のコミュニティ・スクール指定に向けた研究を行った。一色小学校コミュニティ・スクール準備委員会を年 4 回開催し、先進事例の視察、小学校教員や P T A、地域住民を対象に研修会を 2 回実施した。 (2) 「二宮町立小中学校に小中一貫教育校の導入を検討するにあたっての基本的な考え方」を策定し、小中一貫教育について教育委員会における考え方、方向性を整理した。	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	-	-	202,000	131,673
成果・課題		評価・所見		
(1) 一色小学校コミュニティ・スクール準備委員会では、平成 30 年度の指定を見据え、情報共有と平成 29 年度の活動内容の検討が順調に進められた。一般町民へは、町広報紙への記事掲載、一色小学校区への回覧等で周知に努めた。 (2) 「二宮町立小中学校に小中一貫教育校の導入を検討するにあたっての基本的な考え方」の策定により、今後の検討の方向性を示すことができた。		B (前年度評価：-) (1) “開かれた学校” から一歩進んで“地域とともにある学校” とするために、コミュニティ・スクール化は有効な手段であるが、地域住民の理解と参画には、多くの時間が必要である。今後、導入に向けての環境づくりがより一層求められるため、評価は B とした。 (2) また、小中一貫教育校の検討についても、児童生徒の学習活動と施設の再配置等を含めた諸条件との最適解を導き出すために、慎重な検討と議論が必要である。		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
主たる取り組み <その他、学校教育における取り組み> ⑥学校給食センターにおける取り組み ・児童生徒の食育の推進 ・安全安心でおいしい給食の提供 (教育総務課 教育総務班)	・前年度に引き続き、町立小中学校の児童生徒に、安心・安全でおいしい給食を提供している。 平成 27 年度稼働日数 <div style="text-align: right;">188 日</div> 平成 27 年度提供食数 (1 日あたり) 2,203 食 (平成 27 年 5 月 1 日時点) 栄養士学校訪問回数 12 回(うち、栄養教諭の訪問回数 6 回) ・「学校給食センター異物混入対応に関するガイドライン」を策定 (学校からの異物混入報告件数：20 件)。		・引き続き、町立小中学校の児童生徒に、安心・安全でおいしい給食を提供している。 平成 28 年度稼働日数 <div style="text-align: right;">190 日</div> 平成 28 年度提供食数 (1 日あたり) 2,174 食 (平成 28 年 5 月 1 日時点) 栄養士学校訪問回数 13 回(うち、栄養教諭の訪問回数 6 回) ・「学校給食センター異物混入対応に関するガイドライン」を改訂 (学校からの異物混入報告件数：13 件)。	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	75,020,000	69,177,687	75,860,000	73,115,620
成果・課題		評価・所見		
安心・安全でおいしい給食を提供するとともに、栄養士が学校を訪問し、児童生徒の食育にも取り組んでいる。 また、前年度に策定した「学校給食センター異物混入対応に関するガイドライン」をもとに、引き続き異物混入対策に取り組んだ。 給食食材の放射能検査については、県の「安全・安心のための学校給食環境整備事業」を活用し、検査を実施してきたが、平成 28 年度末をもって本事業が休止された。今後は、状況の変化など必要に応じて実施していく。		<div style="text-align: center;">A (前年度評価：B)</div> 安心・安全でおいしい給食を提供するため、献立の充実などのソフトウェア、施設設備の点検整備などのハードウェア両面において、適正に取り組んでいることから、評価を A とした。 児童生徒への食育については、学校と連携しながら今後も様々な形で取り組んでいきたい。 異物混入対応については、引き続き給食センターをはじめ、関係者が常に異物混入に対する意識を高く持たなければならない。 給食施設設備については、定期的な点検など維持管理に努めているが、購入後 10 年を経過した配送車をはじめとする関連機材の整備について、引き続き計画的な整備と維持管理が必要である。		

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート (生涯学習課)

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 1 「生きる力」の育成 (2) 地域社会とともに 生きる力の育成 ①児童・生徒の地域活動 への参加促進 (生涯学習課 生涯学習班)	第41回民俗芸能のつどい 平成27年10月25日(日) 参加人数 463人(内子ども259人) 伝統芸能 3団体 祭囃子 12団体 招待芸能 2団体 招待芸能として、地域間交流を行っている長野県高山村から信州高山赤和伎楽会が参加した。		第42回民俗芸能のつどい 平成28年10月23日(日) 参加人数 415人(内子ども253人) 伝統芸能 3団体 祭囃子 12団体 招待芸能 2団体 招待芸能として、南足柄市の足柄ばやし保存会が参加した。	
	現計予算額(円)	決算額(円)	現計予算額(円)	決算額(円)
	149,000	148,383	149,000	148,117
成果・課題	評価・所見			
	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：A)</p> <p>民俗芸能団体の成果発表の場として、また、町の伝統文化を多くの方に知っていただく場として一定の成果があることからAとした。</p> <p>将来を担う子どもたちに伝統文化を継承していくためにも、継続した開催が必要である。</p>			
町民俗芸能保存会連絡協議会との共催で例年行っている事業で、町内の民俗芸能団体が一同に会し、日頃の成果を披露し、活動をPRする場として、また、団体相互の交流や連携の場として一定の成果をあげている。				

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 4 社会全体による子育て ①放課後子ども教室の実施 (生涯学習課 生涯学習班)	放課後子ども教室の実施 二宮小 登録数 82 人 ①11月9日(月) 70人 ②11月16日(月) 70人 ③11月30日(月) 72人 ④12月7日(月) 72人 一色小 登録数 33人 ①9月7日(月) 30人 ②9月14日(月) 27人 ③9月28日(月) 29人 ④10月5日(月) 29人 山西小 登録数 50人 ①6月19日(金) 48人 ②7月11日(金) 48人 ③7月3日(金) 47人 ④7月10日(金) 46人		放課後子ども教室の実施 二宮小 登録数 96人 ① 11月7日(月) 79人 ② 11月14日(月) 中止 ③ 11月21日(月) 82人 ④ 11月28日(月) 82人 一色小 登録数 38人 ① 6月13日(月) 35人 ② 6月20日(月) 35人 ③ 6月27日(月) 37人 ④ 7月11日(月) 38人 山西小 登録数 30人 ① 9月16日(金) 23人 ② 9月23日(金) 28人 ③ 9月30日(金) 29人 ④ 10月14日(金) 30人	
	現計予算額(円)	決算額(円)	現計予算額(円)	決算額(円)
	368,000	333,913	370,000	322,516
成果・課題		評価・所見		
<p>平成26年度より、運営協力として、子どもの見守りや遊びの指導を行う放課後子ども教室サポーターを募り、小学校の体育館を会場として実施している。</p> <p>平成27年度と同規模の実施だが、3年目ということもあり、各学校の実施日を集中して実施することにより、子ども同士、サポーターとも打ち解けた雰囲気の中で実施ができた。</p> <p>放課後子ども教室は、放課後の安全な居場所づくりを確保するとともに、地域力によって進めるための推進体制を検討していく。</p>		<p>B</p> <p>(前年度評価：B)</p> <p>事業内容自体は子どもたちにとっては好評であり、一定の成果があったとみられるが、サポーターの確保や実施回数、運営方法など課題について検討が必要であるBとした。</p>		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 5 図書館の充実 ①子育て世代が魅力を感じる図書館づくり (生涯学習課 図書館班)	平成 27 年度、主に行った事業等 ・ブックスタート事業(継続) 年 6 回・絵本配布数：141 冊 ・子育て関連図書および関連情報コーナーの充実(継続) ・子育て支援関連講座(継続) 「絵本はここのおやつ」18 人 「わらべうたであそぼう！(乳児向)」子ども 40 人・大人 46 人 ・図書館託児サービス(継続) 20 人 ・ファミリー読書のすすめコーナー設置(町内書店と図書館の推薦図書の紹介、7 月より開始、奇数月) ・こどものほんコーナーに本の相談員設置(6 月より試行、月 2 回おはなし会時、夏休み期間中週 1 回)		平成 28 年度、主に行った事業等 ・ブックスタート事業(継続) 年 6 回・絵本配布数：167 冊 ・子育て関連図書および関連情報コーナーの充実(継続) ・子育て支援関連講座(継続) 「楽しもう！よみきかせ」58 人 「わらべうたであそぼう！(乳児向)」子ども 41 人・大人 51 人 ・図書館託児サービス(継続) 29 人 ・ファミリー読書のすすめコーナー設置(町内書店と図書館、図書館関連団体の推薦図書の紹介、年 4 回、図書館内および町内小中学校と町内書店に本の紹介ポスターを掲示) ・こどものほんコーナーに本の相談員設置(夏休み期間毎日)	
	現計予算額 (円)	決算額(円)	現計予算額(円)	決算額(円)
34,507,000	34,272,586	34,909,000	34,623,111	
成果・課題	評価・所見			
「子育て世代が魅力を感じる図書館運営」を目指し、引き続き子育て支援関連の行事等事業の開催および子育て関連コーナーの充実を進め、利用促進を図った。 また、今年度行った読み聞かせ講座は、特に子育て世代への呼びかけ(保育園、幼稚園、小学校に周知)を積極的に行い、内容も、男性講師を招き、男性の育児について語ってもらうなど、より多くの対象者に参加してもらえるよう工夫し、おおむね好評であった。	A (前年度評価：A) 平成 25 年 6 月に策定された「二宮町定住促進計画」(子育て編)に引き続き、「二宮町子ども・子育て支援事業計画」(平成 27 年度～平成 31 年度)においても、子育て世代が魅力を感じる図書館として充実させることがうたわれている。従来から力を入れてきた子ども向けサービスのほか、こどものほんコーナー相談員の設置、子育て世代をメインとした読み聞かせ講座の開催など、サービスをより充実したため、Aとした。			

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況		
重点施策 5 図書館の充実 ② 図書館資料の充実 (生涯学習課 図書館班)	平成 27 年度について ・町制 80 周年記念事業の一環として、図書館基金を充当し、町民に関心の高い健康、病気関連の図書を購入し、コーナーを設置して資料の充実を図った。 (購入金額：499,533 円、購入冊数 219 冊) ・引き続き現行の予算の維持、寄贈受入、雑誌スポンサー制度の活用を行った。 【平成 27 年度】 図書資料 5,699,738 円 計 3,189 冊 (一般 2,628 冊 児童 561 冊) 視聴覚資料 101,004 円 計 18 点 (CD 8 点 DVD 10 点)	平成 28 年度について ・昨年度に引き続き、予算の一部に図書館基金を充当し、資料の重点購入を計画的に進め、資料の充実を図った。 (平成 28 年度重点購入：DVD、健康・医療関連図書、ティーンズコーナー図書) ・引き続き現行の予算の維持、寄贈受入、雑誌スポンサー制度の活用を行った。 【平成 28 年度】 図書資料 5,374,098 円 計 3,086 冊 (一般 2,529 冊 児童 557 冊) 視聴覚資料 325,803 円 計 45 点 (CD 9 点 DVD 36 点)		
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	34,507,000	34,272,586	34,909,000	34,623,111
成果・課題	評価・所見			
平成 27 年度より、予算の一部に図書館基金を充当し、資料の重点購入を計画的に進め、資料の充実に努めている。また、平成 27 年度より設置した「健康・医療関連図書コーナー」のPRと町の健康づくり事業の促進をかねて、「図書館で健康チェック！」と題し、健康づくり課と協力してイベントを行った。予想を上回る多くの参加者があり(124名)、コーナーのPRにつながった。また、図書館基金について、図書館だよりの町内回覧、町広報等で積極的にPRを行った。	A (前年度評価：A) 図書館資料の充実については、図書館基金を有効活用し、健康・医療関連図書・ティーンズコーナー充実を図ることができたのでAとする。			

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
重点施策 5 図書館の充実 ③ 図書館サービスの充実 (生涯学習課 図書館班)	平成 27 年度について ・かねてより希望が多かった、こどものほんコーナーへの人の配置について検討するため、6 月より試行で相談員の配置を行った(月 2 回おはなし会時および夏休み期間中週 1 回)。 設置の時間、曜日等を決め、利用状況を比較、把握した。		平成 28 年度について ・平成 27 年度の試行を受け、子どもの利用が多い夏休み期間中毎日、こどものほんコーナーに図書相談員を配置した(火・木・金—9:30~12:00、水・金・日—13:00~15:30) 【平成 28 年度こどものほんコーナー相談員】 ・相談受付件数 164 件 (平成 28 年 7 月 16 日~8 月 30 日) ・相談内容等 夏休みの宿題、調べものの援助 おすすめの絵本、本の選び方(年齢別など) 絵本や児童書の並び方の説明 タイトルや作者があいまいな本 ミニおはなし会、おりがみあそび等	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	7,050,000	7,047,964	7,050,000	7,049,091
成果・課題		評価・所見		
こどものほんコーナーへ人員の配置については、以前より希望があり、平成 28 年度に予算化され実現した。特に利用が多かったのは、夏休みの児童の宿題の資料探しの援助、保護者の児童書選びのアドバイスなどだった。コーナー内で、利用者の近くにいることで、利用の把握および声掛けなどができ、よりニーズにあったサービスができるようになった。相談の間などに、読み聞かせや折り紙などなるべく子どもたちと接点を持つきっかけも作れるようにし、図書館利用を楽しんでもらいたいと考える。		A (前年度評価：A) 図書館サービス充実については、利用者のニーズをにマッチした図書の相談員を配置することによって成果が上がっているため A とする。		

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
3生涯スポーツ ②関係施設・整備 (生涯学習課 生涯スポーツ班)	<p>設備については、毎日使用している機械の老朽化や施設が開館以来20年以上が経った機械があるため、優先順位を決めて修繕等を実施しているが、他の予定以外の修繕等が多く発生するため、十分な対応が出来ていない。</p> <p>平成27年度温水プール修繕料 ・1,494,288円(20箇所) コピー機修繕 トレーニングルーム関係修繕 顕熱交換器整備 券売機修繕 エアコン関係修繕 塩素注入滅菌器交換修繕 自動火災報知設備等修繕 水銀灯安定器取替修繕 他</p>		<p>平成28年度も継続して、設備機器の老朽化や機器の対応年数による整備が必要になった。</p> <p>また、修繕経費も毎年多くなっているため、状況を把握しながら優先順位を決めて修繕等を実施していく必要がある。</p> <p>平成28年度温水プール修繕料 ・2,364,336円(14箇所) 監視装置無停電装置バッテリー交換 シャワーバルブ交換修繕 平成28年度山西プール工事請負費 浄化槽放流ポンプ及び循環浄化装置集毛器交換工事 監視装置無停電装置バッテリー交換 トレーニングルーム関係修繕 エアコン冷媒漏れ検査 消防設備修繕 25mプール戻し弁バルブ交換修繕 水質監視装置部品交換修繕 ポンプ類修繕 他</p>	
現計予算額(円)		決算額(円)	現計予算額(円)	決算額(円)
61,399,000		58,856,619	89,579,000	88,847,040
成果・課題			評価・所見	
<p>平成6年4月に開館して以来、施設の老朽化や機器の整備に、費用を要するため、町の財政を圧迫することが懸念されるが、施設維持のために、修繕・工事の長期計画を立てて、改修していく必要がある。</p>			<p>B</p> <p>(前年度評価：B)</p> <p>各施設が老朽化しており、修繕箇所が多くなってきている。施設の管理や利用者の安全の観点から、今後も優先順位をつけ、計画的に施設修繕を行う必要があることからB評価とした。</p>	

第3章 外部評価(意見)

評価委員：高橋 克美（人権擁護委員）

評価（意見）内容

第1章 教育委員会の活動状況について
教育委員会議は12回開催され、詳細な教育長事務報告や合計24件の各種議案について活発かつ慎重な審議が行われており適切な運営を感じます。また教育委員は教育委員会議以外に学校訪問をはじめ年間を通じ多数の各種行事や研修に積極的に参加され、町教育に関する今日的課題の情報共有化のもと、活発な意見交換がなされるなど真摯な委員会活動がなされており、高く評価し敬意を表します。
第2章 教育委員会における主要事業の執行状況について
各項目とも評価は妥当と思います。
事業費が記載されたことにより事業内容、規模がより分かりやすくなりました。
二宮西中学校で地区と協力して避難所開設訓練が出来てきたことを高く評価します。各校とも地域との協力関係や防災教育が進展していくことを期待します。
学校におけるいじめに関する人権侵犯事件は毎年全国的に数多く発生しています。本町では特別問題になっていないようですが、人権教育とともに異変を早期に発見するなど引き続き適切に対応されるよう要望します。
スクールソーシャルワーカー（SSW）が増員され、支援教育や教育相談体制が強化されたことを評価します。また各専門職の有機的、効率的な活用により更なる向上を期待します。
教育行政に関する内容は町ホームページから閲覧できますが、各校の行事や特色ある取り組みなどは不定期発行の学校だよりで知るのみです。地域との協力関係構築や

開かれた学校づくりのためにも保護者や地域住民が入手しやすいよう情報提供方法に
更なる工夫が必要と思います。

安全安心でおいしい給食提供への不断の努力を評価します。

各プール施設は老朽化していますが、引き続き事故が無く多くの方に利用して頂け
るよう適切な施設整備と管理運営を要望します。

評価委員：西山 千鶴子（二宮町民生委員児童委員）

評価（意見）内容

第1章 教育委員会の活動状況について
教育委員会議において、教育委員会事務局からの報告及び協議事項に対し、
教育委員から活発な討議がなされ、また学校訪問や各種行事に参加したことで、委員
としての運営活動がなされたと思います。
これからも、より良い討議等がなされることを期待します。
第2章 教育委員会における主要事業について
各項目についての評価は妥当だと思います。
二宮西中学校での避難所開設訓練は、地区と生徒が一体となり、真剣に取り組んで
いた様子が伺われ、有意義な訓練でした。
スクールソーシャルワーカーを今年度2名に増員したことは良かったと思います。
是非いじめ、不登校、引きこもりなどに目配りをして町教育委員会等と早めの対応
をお願いします。
町立小中学校の児童生徒に、安心・安全でおいしい給食を提供してくれているのは
とても素晴らしい事だと思います。しかし、異物混入報告件数は、昨年度より少なく
なっていますが、今後もゼロ件になるよう、一層の努力をお願いします。
放課後子ども教室にサポーターとして今年度民生委員が各担当地区の小学校に参加
しました。上級生と下級生が一体となり遊んでいたことは素晴らしいと思いました。
参加した結果、実施時期・回数や運営方法について、もう少し検討した方がよいの
ではと思いました。
図書館については、こどものほんコーナー相談員を配置したことにより、夏休みの
宿題等の相談に164件もの相談があり、利用しやすくなったことは嬉しいです。
図書館の利用者が増えますよう一層の努力をお願いします。
各施設については、事故のないように安全管理の徹底をお願いします。

最後になりましたが、いじめ、不登校のない、児童生徒が安心して学校へ通える環境の体制づくりをお願いします。

参 考 資 料

二宮町教育委員会点検及び評価実施規則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、二宮町教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施することに関し必要な事項を定める。

(点検及び評価の実施)

第2条 点検及び評価は、実施年度の前年度における教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、行うものとする。

(点検及び評価の対象)

第3条 点検及び評価の対象は、教育委員会の活動及び二宮町教育委員会基本方針等に基づいて教育委員会が実施する施策等とする。

(評価委員)

第4条 教育委員会は、点検及び評価を透明性及び客観性を持った適正なものとするため、二宮町教育委員会評価委員(以下「評価委員」という。)を置く。

2 評価委員は、教育委員会の求めに応じ、点検及び評価について意見を述べるものとする。

3 評価委員は2名とし、教育に関して公正な意見を述べる事が期待できる者の中から、教育委員会が委嘱するものとする。

(評価委員の任期)

第5条 評価委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 評価委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(点検及び評価の手順)

第6条 点検及び評価を実施するにあたっては、教育委員会各課がその所管する第3条に掲げる事項について行うものとする。

2 教育委員会は、前項の点検を基に、評価委員の意見を聴いたうえで、教育委員会会議に諮るものとする。

3 教育委員会は、評価委員の意見も含めた二宮町教育委員会点検及び評価報告書を別に定める要領により作成し、二宮町及び二宮町議会へ提出するとともに、町民に公表するものとする。

(点検及び評価結果の活用)

第7条 点検及び評価の結果は、教育委員会の施策の立案及び進行管理、事業の見直し等に活用するものとする。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育

委員会が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

二宮町教育委員会点検及び評価実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、二宮町教育委員会点検及び評価実施規則（以下「実施規則」という。）に基づいて実施する二宮町教育委員会点検及び評価の具体的な方法について必要な事項を定める。

(評価事項)

第2条 評価事項は、次に掲げる項目とする。

- (1) 教育委員会議、学校訪問、研修及びその他教育委員が直接関与している事業の活動状況
- (2) 教育委員会が管理及び執行している事業並びに教育長に委任している事務のうち、重点施策及び主たる取り組み
- (3) その他、教育委員会が特に記載するもの

(評価の観点)

第3条 評価の観点は、教育委員会の行う活動として適正か、目標とする効果が得られているか、コスト意識を持って取り組んでいるかを主たる観点とし、総合的に評価する。

(評価の基準)

第4条 点検評価においては、評価の観点を元に、評価対象について、次の区分により評価する。

評価	評価基準
A	目標とする成果が得られた。 または、適正に取り組んでおり、成果が上がっている。
B	おおむね適正に取り組んでいるが、改善が望ましい点がある。
C	取り組みが不足しており、改善を要する点がある。
D	取り組みが不要であり、方向性を見直しを含めた再検討が必要である。

(報告書の作成要領)

第5条 実施規則第6条第3項に基づき作成する二宮町教育委員会点検及び評価報告書（以下「点検及び評価報告書」という。）は、教育委員会の活動状況点検評価シート（別紙1）及び教育委員会事務局の活動状況点検評価シート（別紙2）により作成するとともに、次に掲げる項目について掲載するものとする。

- (1) 点検評価対象年度の教育委員会基本方針
- (2) 点検評価対象年度末時点の教育委員の一覧
- (3) 第2条で定める評価事項に関する項目
- (4) 評価委員からの点検及び評価意見

(公表)

第6条 点検評価の町民への公表については、点検及び評価報告書を公告するとともに町ホームページに掲載することにより行う。

(その他)

第7条 この要領の実施にあたり、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

附 則

この要領は、公表の日から施行する。

別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度 実績・状況	当年度 実績・達成状況
成果・課題	評価・所見	

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度 実績・状況		当年度 実績・達成状況	
	現計予算額	決算額	現計予算額	決算額
成果・課題	評価・所見			

平成 29 年度 二宮町教育委員会点検及び評価報告書

(平成 28 年度事業分)

【 発行 平成 29 年 10 月 】

発行者 二宮町教育委員会 編集 教育部教育総務課

〒259-0196 神奈川県中郡二宮町二宮 961 ℡0463-71-3311 (代表)